

レジメン名 (治療名)													
デュルバルマブ													
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分										
非小細胞肺癌	デュルバルマブ	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他									
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)								
1	デュルバルマブ	10mg/ kg	点滴静注	60分	Day1								
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		2週間ごと											
総コース数及び総投与量の限界		デュルバルマブ治療開始から12か月間											
プレメディケーション ポストメディケーション		なし											
備考		<p>・少なくとも2サイクル白金製剤を用いた根治的同時化学放射線療法後に病勢の進行が認められていない患者が対象。</p> <p>・臨床試験上では、化学放射線療法終了後42日以内に開始されていた。42日以降でも保険算定上、投与は可能。</p> <p>・Infusion reaction 発現時の対応</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>重症度</th> <th>対応</th> </tr> <tr> <td>Grade1</td> <td>投与中断、または点滴の注入速度を50%へ減速</td> </tr> <tr> <td>Grade2</td> <td>投与中断、または点滴の注入速度を50%へ減速 次回以降の投与では前投薬に抗ヒスタミン薬の追加等を検討する。</td> </tr> <tr> <td>Grade3以上</td> <td>投与中止。</td> </tr> </table> <p>・計画表の体重から10%以上の体重変化があった場合、デュルバルマブの投与量を再設定する。</p> <p>・モニター項目 間質性肺炎：胸部CTの実施、KL-6・SP-Dの採血 甲状腺機能：TSH、F-T3、F-T4 糖尿病：HbA1c、随時血糖</p>				重症度	対応	Grade1	投与中断、または点滴の注入速度を50%へ減速	Grade2	投与中断、または点滴の注入速度を50%へ減速 次回以降の投与では前投薬に抗ヒスタミン薬の追加等を検討する。	Grade3以上	投与中止。
重症度	対応												
Grade1	投与中断、または点滴の注入速度を50%へ減速												
Grade2	投与中断、または点滴の注入速度を50%へ減速 次回以降の投与では前投薬に抗ヒスタミン薬の追加等を検討する。												
Grade3以上	投与中止。												

《投与順》

(1) 生理食塩液	50mL	5分
(2) 生理食塩液	100mL	
デュルバルマブ	10mg/kg	60分
(3) 生理食塩液	50mL	5分